



ゴールにいる母親に笑顔でタッチする幼児

ママめがけてもう一步
ハイハイレース開催

10月28日、保健福祉センターでファミサポハイハイレースが開催され、町内の親子6組が参加しました。これは、幼児たちの健やかな成長と母親たちの交流を目的に町で初めて開催されたイベントです。当日、幼児たちが2人ずつレースを行い、ゴールで手を広げる母親を目指して一生懸命歩みを進める様子が見られました。また、レース後には、手作りのメダルと撮影スポットで記念撮影が行われました。

参加した幼児の母親は、「泣きながらも歩みを進める子どもの様子を見て、成長をひしひしと感じることができ、とても嬉しかった。」と話しました。本イベントは今後も定期的に開催する予定です。

学校の在り方を問う
アンケート調査結果報告会

10月8日から29日にかけて、「教育環境の整備に関するアンケート調査結果報告会」が町内4地区で開催されました。これは、未就学児・児童・生徒の保護者に対して実施した学校規模に関するアンケート調査の結果や学校生活および学校運営などに関する諸問題の調査を行っている「巨理町立小・中学校教育環境整備計画検討委員会」での協議結果を地域住民へ報告し意見を募ることで、今後の教育環境の整備について参考とするために開催したものです。

今回の報告会で取りまとめた意見などは広報わたりや町公式HPなどで改めて報告します。



意見を述べる地域住民

叙勲の栄誉

秋の叙勲受章者と危険業務従事者叙勲受章者が11月3日付けで発表されました。



瑞宝小綬章
佐藤 吉信 氏
(元 陸上自衛隊航空学校 宇都宮分校長)

佐藤吉信さんは、陸上自衛官として昭和48年に入隊されて以来、32年間という長きにわたりヘリコプターによる災害時の支援や航空科隊員に対する教育訓練などに務められました。特に、平成13年からは東北方面航空隊の隊長として、平成14年に発生した丸森町山林火災での消火活動や災害時における支援物資の供給活動などに従事し、豊富な知識と的確な判断のもと、部下たちの先頭に立って指揮をとりました。

また、平成15年から退職までの2年間は陸上自衛隊航空学校宇都宮分校長として操縦教育を監督し、訓練に対する地域住民の理解を得るために地域活動に積極的に参加するなど、学びやすい環境づくりや飛行場の安定使用に寄与されました。

受章を受けて佐藤さんは、「目の前の任務に必死に取り組んできた。家族や部下の支えがなければ、ここまで続けてこれなかった。」と話しました。



瑞宝単光章
谷津 栄一郎 氏
(元 巨理町消防団長)

谷津栄一郎さんは、家業に従事するが、昭和52年に巨理町消防団員に拝命されて以来、平成29年度からは消防団長を務めるなど、約40年ものあいだ消防防災活動に務められてきました。特に、東日本大震災の際は、巨理分団長として、津波により孤立した住民の救助活動や行方不明者の捜索活動にあたりました。また、令和元年10月に発生した台風19号の際には、消防団長として、住民の避難誘導や阿武隈川の堤防の警戒など、長年の経験と技術を發揮し、現場の指揮をとりました。

受章を受けて谷津さんは、「家族や仲間のおかげでここまで消防団活動を務めることができた。団員として活動していた間は、大変なことが多かったが、それがあっての今があると思う」と、締めずに続けてこれられてよかった。」と話しました。

危険業務従事者叙勲



瑞宝双光章
富田 勝男 氏
(元 自衛隊1等陸尉)

富田勝男さんは、昭和54年に陸上自衛隊に入隊され、平成26年9月まで35年間の長きにわたり自衛隊員を勤められました。

入隊後に配属された旭川駐屯地、そして、その後に配属された帯広駐屯地では、有事に備えて大砲などを取り扱う火力戦闘部隊に配属されています。

特に、その後に配属された仙台駐屯地の災統合任務部隊では、総監部付隊の輸送班長として人員および物資の輸送の調整や計画、運用などの陣頭指揮をとられ、東日本大震災時の災害支援活動にも尽力されました。

受章を受けて富田さんは「上司や同僚、後輩、家族、地域の方々からの指導および協力があったからこそ受章できた。みなさんに感謝を伝えたい。」と話しました。

※叙勲を受章された方々の紹介については、発表の住所地から巨理町民と確認できた方で、受章者本人から掲載の了承を得られた方のみ掲載しています。



教育文化功労
玉田 良三 氏
(現 宮城県スポーツ指導者協議会 副会長)

玉田良三さんは、多年にわたり宮城県スポーツ指導者協議会の役員として組織の発展に尽力し、指導者の育成およびスポーツの振興に寄与しました。



保健衛生功労
清野 珠美子 氏
(現 巨理町食生活改善推進員協議会 会長)

清野珠美子さんは、多年にわたり巨理町食生活改善推進員協議会の役員として組織の発展と保健衛生の向上に寄与しました。

文化の日表彰

令和3年文化の日表彰式が、11月1日に東京エレクトロンホール宮城で行われ、町から2人が受賞されました。

12月号 No.664

目次

- 2 叙勲の栄誉・文化の日表彰
- 3 NEWS & NEWS
ママめがけてもう一步／ハイハイレース開催
学校の在り方を問う／アンケート調査結果報告会
- 4 令和3年度 巨理町町政功労者・教育功績者表彰式
- 5 巨理町この一年
- 6 WATARI TRIPLE C PROJECT
C SQUAD活動報告
- 9 NEWS & NEWS
広がる地域の輪／吉小・吉田西部地区合同運動会
画面越しでも笑顔でふれあい／吉中・吉保オンライン保育
秋の味覚で絆深める／親子でさんま炭火焼き会
名選手から熱血指導／少年野球教室開催
- 10 令和2年度決算 町の財政状況をみてください
- 14 町職員の給与 定員管理等のあらまし
- 16 新型コロナウイルス感染症 関連情報
- 22 ふれあいと健康のひろば(休日当番医など)
- 24 おしらせひろば

世帯数と人口

令和3年10月31日現在

世帯数	12,986世帯	(28世帯増)
総数	33,445人	(3人増)
男	16,456人	(3人増)
女	16,989人	(増減なし)

※ () 内は前月比

問 町民生活課(☎34-1113)

今月の表紙

中町児童クラブで行われた「親子でさんま炭火焼き会」。史上最多の参加者で賑わいをみせた会場は、さんまやさつまいもなど秋の味覚を美味しくに頼る親子たちの笑顔で溢れていました。

